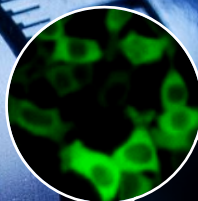




細胞オルガナライメーキング用 Pre-made レンチウイルス



- 核
- 細胞質
- 小胞体
- ゴルジ体
- ミトコンドリア
- 核膜
- ペルオキシソーム
- 細胞膜
- 微小管
- ヒストン
- リソソーム
- エンドソーム

培養細胞に加えて待つだけで、細胞オルガナを視覚化 生細胞イメージング・細胞内シグナル経路の動的研究に最適

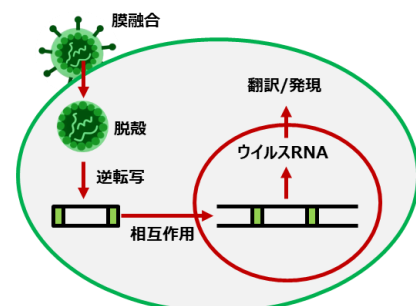
- 👍 **堅牢な発現と高力価**：市場のレンチウイルスの中でも最も明るい蛍光と強い形質導入効率
- 👍 **長期発現**：初代培養細胞や神経細胞などのトランスフェクションが困難な細胞株でも、蛍光標識された標的タンパク質を長期間発現
- 👍 **簡単なプロトコル**：ウイルスを細胞培養に追加し48～92時間待つだけで蛍光を視覚化。添加物や培地の交換不要
- 👍 **マルチカラーアプリケーション**：異なる色を発現するレンチウイルスを、同じ細胞に導入可能
- 👍 **簡単な細胞選抜**：蛍光シグナルまたは薬剤耐性で陽性細胞の選抜が可能

レンチウイルスによる細胞オルガナライメーキング

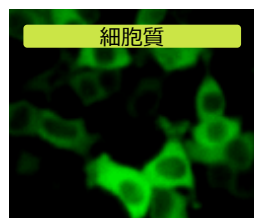
レンチウイルスは、非分裂細胞や初代培養細胞など、哺乳類の細胞型の大部分に遺伝子を送達するための最も簡単で効果的な方法です。レンチウイルスシステムを用いることで、遺伝子を長期発現のために宿主細胞ゲノムに組み込むことが可能です。

レンチウイルスには、独自のsuCMVプロモーター下で発現する、蛍光タンパク質-オルガナターゲットシグナル融合遺伝子が含まれています。蛍光タンパク質は細胞に対して無毒であり、細胞構造を損なうことも、シグナル伝達経路を妨害することはありません。そのため、生細胞イメージングおよび細胞内シグナル経路の動的研究に最適です。コントロール用レンチウイルスでは、非ターゲットスペーサー配列（Null）が蛍光タンパク質遺伝子と融合しています。そのため、Nullコントロール用レンチウイルスを使用すると、細胞は、細胞内に均一に分布した蛍光シグナルを示します。

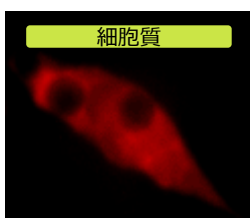
レンチウイルスを哺乳類の細胞培養に加えるだけ使用でき、添加物や基質は不要です。自己蛍光タンパク質の発現は、形質導入後1～3日で特定の細胞内コンパートメントに局在し、蛍光顕微鏡で視覚化できます。レンチウイルスには、RSVプロモーター下で発現する抗生物質選択マーカーも含まれているため、陽性細胞を簡単に選択可能です。



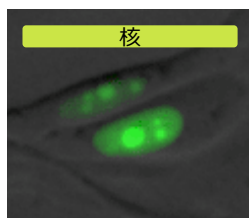
レンチウイルス粒子による形質導入



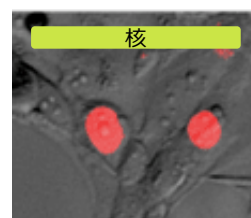
▲ Cyto-GFP
(品番 LVP450-G)



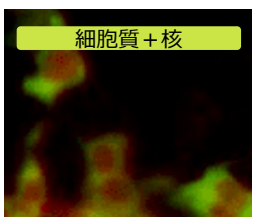
▲ Cyto-RFP
(品番 LVP450-R)



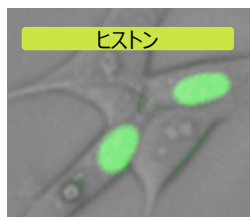
▲ Nuc-GFP
(品番 LVP360-G)



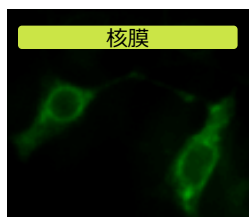
▲ Nuc-RFP
(品番 LVP360-R)



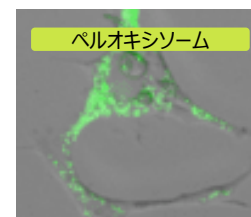
▲ Cyto-GFP + Nuc-RFP
(品番 LVP450-G+LVP360-R)



▲ GFP-H2B
(品番 LVP440-G)



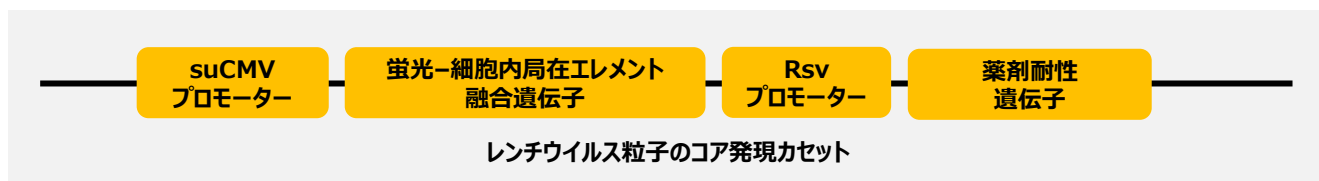
▲ Nuc-membrane-GFP
(品番 LVP453-G)



▲ Peroxisome-GFP
(品番 LVP454-G)

製品ラインナップ

suCMVプロモーター下で蛍光タンパク質（GFP/ RFP / CFP）と融合した細胞内局在エレメント遺伝子が発現します。また、RSVプロモーター下で薬剤耐性遺伝子（ピューロマイシン / プラストサイジン / ネオマイシン）が発現するので、形質導入後の細胞選抜が容易です。
※品番に*マークがついている製品は、より高力価のPBSフォーマットの製品のご用意がございます。



局在するオルガネラ	薬剤耐性マーカー	品番		
		GFP	RFP	CFP
オルガネライメージング用レンチウイルス				
核(Nuc)	ピューロマイシン	LVP360-G *	LVP360-R *	LVP360-C *
	ネオマイシン	LVP360-GN	LVP360-RN	-
	プラストサイジン	-	LVP360-RB	-
細胞質(Cyto)	ピューロマイシン	LVP450-G	LVP450-R	LVP450-C
小胞体(ER)	ピューロマイシン	LVP606-G	LVP606-R	LVP606-C
ゴルジ体(Golgi)	プラストサイジン	LVP451-G	LVP451-R	LVP451-C
ミトコンドリア(Mito)	ピューロマイシン	LVP893-G	LVP893-R	LVP893-C
	ネオマイシン	LVP894-G	LVP894-R	LVP894-C
	プラストサイジン	LVP452-G	LVP452-R	LVP452-C
核膜(Nuc-membrane)	ピューロマイシン	LVP453-G	LVP453-R	LVP453-C
ペルオキシソーム(Peroxisome)	ピューロマイシン	LVP454-G	LVP454-R	LVP454-C
細胞膜(Plasma-mem)	ピューロマイシン	LVP455-G	LVP455-R	LVP455-C
微小管(Microtubule)	ピューロマイシン	LVP456-G	LVP456-R	LVP456-C
ヒストン(H2B)	ピューロマイシン	LVP444-G	LVP444-R	LVP444-C
リソソーム(Lysosomes)	プラストサイジン	LVP457-G	LVP457-R	LVP457-C
エンドソーム(Endosomes)	ピューロマイシン	LVP458-G	LVP458-R	LVP458-C
コントロール用レンチウイルス				
コントロール(Null)	ピューロマイシン	Null-G(Puro)	Null-R(Puro)	Null-C(Puro)



本製品はカルタヘナ法該当製品のため、ご注文の際に「ご使用者確認書」のご提出をお願いしております。ご使用に際しては、規則に即し、適切にお取り扱いください。

ご使用者確認書 ▶ <https://filgen.jp/Product/Bioscience4/GenTarget/kakuninsho.pdf>

GenTarget社製品をもっとみる



<https://filgen.jp/Product/Bioscience4/GenTarget/index.html>

関連製品



ALSTEM社
ウイルス関連試薬



Biontex社
トランスフェクション試薬



Synvolux Therapeutics社
トランスフェクション試薬

フィルジェン 株式会社 

【お問い合わせ】 試薬部

TEL : 052-624-4388 FAX : 052-624-4389

メール : biosupport@filgen.jp URL : <https://filgen.jp/>

代理店

(Oct.2021)